

現状と課題、街づくりの目標・方向性（案）



目標

- (1) 防災力の向上により安全性の高い街の形成を目指します
- (2) 道路・交通環境の改善などにより安全・安心な街を目指します
- (3) 生活の中でのゆとりや安心感の確保など住民の暮らしやすさに配慮した環境の形成を目指します
- (4) 誰もが楽しく過ごし、集える空間の保全・創出を目指します

現状

課題

街づくりの方向性

防災

災害リスクを抱えている
(火災、震災、水害、避難)

- ・ [火災] 延焼抑制のための道路周辺の空間確保、建物の改善
- ・ [震災] 建物や電柱、塀等の安全性確保
- ・ [水害] 豪雨時の浸水対策
- ・ 緊急車両が通行できる道路の確保
- ・ 行き止まり路の二方向避難の確保
- ・ 公園・広場・空間の確保

火災による延焼や震災による建物等の倒壊といった災害による被害の発生・拡大を抑え、避難時の移動や緊急時の活動がしやすい環境をつくる

- a 建物等の防災性を高める
- b 空間を確保して防災性を高める
- c 道路とその沿道の防災性を高める



- d 地域主体で防災性を高める※

※地域活動等との連携が必要

ハード

ソフト

道路・交通

狭く、不整形な道路や私道、行き止まり路が多い

- ・ 狭いまま維持⇔狭さの改善（両論あり）
- ・ 部分的な改善による通行のしやすさや見通し確保
- ・ 通過交通、スピードの抑制
- ・ 自転車・歩行者マナーの向上

交通上改善が必要な場所を中心に整備等を進め、歩行者・自転車・車の流れを整え、安全で通行しやすい環境をつくる

- a 道路の接続性を高める
- b 通行空間を確保する



- c 交通規制やマナー等を改善する※

※地域活動等との連携が必要

ハード

ソフト

住環境

生活利便性が高い住宅地である

- ・ 治安の維持等、安全で快適な住宅地づくり
- ・ 庭の草木やゴミの管理等の生活マナーの向上
- ・ 茶沢通りや淡島通りの賑わいづくり
- ・ 生活利便性の向上（施設等）

ゆとりや安心感の確保など住民の暮らしやすさに配慮した環境をつくり、街の利便性・活力を高める

- a 住環境に配慮した建物や敷地を誘導する



- b 緑を感じられる街づくり

- c 街の賑わいづくり※

※商店街等との連携が必要

- d すべての人に配慮した環境づくり

ハード

ソフト

地域の資源

高低差のある地形や住宅地を背景にした街並みがある

- ・ 街並みの改善

地域で愛される資源がある

- ・ 烏山川緑道や神社などの保全・活用
- ・ 公園や烏山川緑道の適切な管理
- ・ 公園・広場・空間の確保

地域の歴史や個性を活かした魅力づくりや、地域の人々がつながり、交流できる環境をつくる

- a 良好な景観づくり

- b 地域で自由に使える場の確保

- c 資源の保全・活用※

※地域活動等との連携が必要

- d コミュニティの活性化※

※地域活動等との連携が必要

ハード

ソフト

地域に根差した活動や行事がある

- ・ 地域活動・交流の活性化、情報の周知・提供
- ・ 生活者各々の視点でできることを考える
- ・ 新たな住民の愛着を高めたり活動に巻き込む